

株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当の基準日	
期 末 配 当	3月31日
中 間 配 当	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所JASDAQ（スタンダード）
公 告 の 方 法	電子公告により行います。
	公告掲載URL http://www.ajis-group.co.jp/ir/e-koukoku/index.html （ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱 UFJ 信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱 UFJ 信託銀行にお問合せください。なお、三菱 UFJ 信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱 UFJ 信託銀行本店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

株式会社エイジスは、株主の皆様への利益還元のひとつとして株主優待制度を実施しております。

● 割当基準日

9月末日

● 優待内容

100株以上1,000株未満所有の株主様
お米券3kgを贈呈いたします。

1,000株以上10,000株未満所有の株主様
お米券5kgを贈呈いたします。

10,000株以上所有の株主様
お米券10kgを贈呈いたします。

ajis密

株式会社エイジス

〒262-0032 千葉県千葉市花見川区幕張町4-544-4
TEL：043-350-0888 FAX：043-350-0800

第36期 中間報告書

2012年4月1日から2012年9月30日まで

“Low Cost Operation” 時代の棚卸システム

ajis密

株式会社エイジス

証券コード：4659

エイジスグループの使命

エイジスグループは、チェーンストアをサポートすることによって社会貢献する企業です。

経営基本方針

私共の事業目的は、正確さを犠牲にすることなく、効率の良い棚卸サービスで、自信をもった「棚卸報告」を提供し、お客様の経営判断に重要な役割を果たすことです。

エイジスグループは、実地棚卸サービスなどのリテイルサポートサービスを提供することにより、チェーンストアをサポートしていくことで社会貢献をしています。

それと同時にエイジスグループは、「人」を育成していく役割も担っています。なぜなら、エイジスグループの仕事は、人がいて初めて成り立つ仕事だからです。どんなにテクノロジーが進化しても、人でなければできない仕事があります。その中のひとつが実地棚卸サービスであり、リテイルサポートサービスです。

人が資産の仕事ですから、エイジスグループは「人」を大切に、「人」とともに成長し、更なる社会貢献を目指します。

トップインタビュー

アジア随一の棚卸会社へ
確かな品質と豊かなサービスで
成長を続けます。

代表取締役社長 齋藤昭生



当中間期の事業環境と経営成績についてお聞かせください。

当第2四半期連結累計期間（以下、当中間期）における国内景況は引き続き先行き不透明な状況が継続いたしました。当社グループの主要顧客であります流通小売業界においても、事業環境は総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループの当中間期の連結経営成績は、売上高は9,087百万円（前年同四半期比0.0%減）、営業利益は344百万円（前年同四半期比54.8%減）、経常利益は364百万円（前年同四半期比53.5%減）、四半期純利益は130百万円（前年同四半期比67.6%減）となりました。

事業セグメント別に見ますと、主力の国内棚卸サービスでは、前年同期に東日本大震災の影響により受注した臨時棚卸が無くなったことや、厳しい価格競争に伴う単価下落等から、売上高は前期同期比で若干のマイナス、営業利益は大幅な減少という厳しい結果となりました。一方で新規事業として注力している海外棚卸サービスでは、当中間期

から新たに香港とタイの子会社2社が連結対象に加わり堅調に事業規模が拡大しており、売上高も2桁の伸びを示していますが、利益を計上するには至りませんでした。同じく育成中のリテイルサポートサービスも前年同四半期比19.2%の増収となったものの、若干の損失が発生する状況となっております。

今後の成長戦略をお聞かせください。

当社グループは現在、2015年3月期を最終年度とした中期計画を推進中です。当社グループは「独自技術を身につけた『プロフェッショナル集団』の構築」を通じて、「アジアにおけるエイジスブランドの確立」を目指すことを経営の基本方針としております。中期計画においては国内・海外それぞれのマーケットで、棚卸サービスやリテイルサポートサービスを複合的に強化していくことを基本戦略としています。さらに、各事業における取り組みに加えて、M&A（合併・買収）や提携も検討し、よりスピードを重視した成長戦略を推進してまいります。

各事業の具体的な戦略としては、主力の国内棚卸サービスでは、棚卸技術を身につけた経験者の比率を上げることで、精度と生産性をさらに向上させ、競争力を高めてまいります。また、物流センターや倉庫、ネットビジネス関連事業者など、これまであまり開拓できていなかった業態へのサービス展開や、蔵書点検など新サービスの拡大など、市場規模を拡大するための取り組みにも注力してまいります。

海外棚卸サービスでは、過去2年間でサービス拠点として海外子会社5社を新設するなど、アジアでの事業展開を加速しています。日系や欧米系の小売店舗だけでなく、現地資本の流通小売企業にも積極的な営業活動を行っております。それにより、同事業の売上高を年率30%以上で成長させ、中期計画の最終年度2015年3月期には単年度黒字化を達成する計画です。拠点の拡充と合わせて従業員教育にも力を入れ、棚卸サービスに加え、リテイルサポートサービスも現地で事業展開し、アジア全体における圧倒的な優位性を早期に確立する計画を推進してまいります。

リテイルサポートサービスでは、子会社のエイジスタッフサービス(株)による人材派遣・請負業務、(株)カスタマーサービス・チェックが手がける調査サービス等が順調に成長しています。今後も積極的にお客様のニーズを掘り起こしていくことで、新サービスを開発し、さらなる成長につなげてまいります。

Q 下期の主な取り組みと通期業績予想についてお聞かせください。

事業環境は期末にかけてもさほど大きな変化はないと予測しており、2013年3月期の連結業績予想としましては、

売上高は18,387百万円（前期比0.6%減）、営業利益は779百万円（前期比44.7%減）、経常利益は812百万円（前期比43.8%減）、当期純利益は346百万円（前期比43.4%減）と見込んでいます。

下期の主な取り組みとしましては、国内棚卸サービスでは棚卸経験者比率を上げることで精度・生産性をさらに向上させ収益性を高めてまいります。それに加えて、7月から導入を開始した無線端末機器が本格導入することや、棚卸繁忙月である2月の作業量を平準化することもあり取り組んでまいります。海外棚卸サービスでは、海外営業担当の拠点を日本から香港へ移管し、よりスピード感を持って対応してまいります。リテイルサポートサービスでは、(株)カスタマーサービス・チェックにおいて新システムを導入し作業効率の改善を図ってまいります。

Q 最後に、株主様へのメッセージをお願いします。

当中間期は国内棚卸サービスの単価下落等の影響により、期初に掲げた業績予想数値に達することができず、株主の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。しかしながら、このような厳しい環境下でありながらも、当社グループは、今後もアジアを中心とする海外への事業展開によってさらなる成長を続けてまいる所存です。株主の皆様にはどうか中長期的な観点から当社グループの成長を見守っていただきたくお願い申し上げます。

株主の皆様におかれましては、当社グループの取り組みを是非ご理解いただき、今後ともさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主総会ダイジェスト

第35回定時株主総会を開催いたしました。

当社は2012年6月28日エイジス本社第2ビルにおいて、第35回定時株主総会を開催し、出席いただきました株主様へ第35期の事業報告を行いました。株主様から当社の経営施策や、業績見通しなどについて質問をいただく中で、よく頂戴する質問について下記にご紹介いたします。



『対処すべき課題』についてのご質問

当社は価格競争や商品開発競争の激化に対応するため、特に店舗のローコストオペレーションを経営上の重要課題として捉え、次の4点について積極的な取り組みを行っております。それぞれの課題への取り組みについて具体的にご紹介いたします。

Q1 『技術開発ならびに人材の定着による実地棚卸サービスの精度、生産性のさらなる向上』とは？

棚卸作業で最も大切な「商品を正確に数える」ことを、より高いレベルで実現するため、棚卸技術の開発、その技術を習得させる人材育成プログラム、また育成した人材を定着させる取り組みをして、精度と生産性の向上に努めています。

Q2 『海外展開を推進する棚卸オペレーションの標準化』とは？

棚卸作業の手順（オペレーション）を世界規模で共通化・標準化することによって、アジアのどこでも、現地の従業員が日本と同等の高いレベルのサービスをバラつきなく提供できる体制を目指しています。

Q3 『顧客の棚卸アウトソーシングニーズを顕在化させる提案営業』とは？

お客様自身による棚卸作業が抱えている問題を見つけ出し、アウトソース化によってどれだけのメリットがあり、どれだけ高い費用対効果が得られるかを納得いただけるような、説得力のある提案営業を志向しています。

Q4 『実地棚卸サービス以外の顧客のニーズに対応する集中補充サービスをはじめとするリテイルサポートサービスの拡充等』とは？

営業終了後から翌日の開店までに店頭商品を補充する集中補充サービスや、店舗での覆面調査など、棚卸以外のさまざまなサービスメニューを用意し、顧客の店舗オペレーションのパートナーとして、店舗のローコスト経営を多角的に支援してまいります。

エイジススタッフサービス株式会社

所 在 地	千葉県千葉市花見川区幕張町3-7727-1
設 立	2001年11月28日
資 本 金	160百万円
事 業 内 容	●労働派遣法に基づく一般労働者派遣事業および請負事業 ●有料職業紹介事業 ●流通小売業界に特科した人材派遣および請負サービス
営 業 拠 点	仙台、東京、千葉、横浜、名古屋、大阪

エイジススタッフサービス株式会社は、株式会社エイジスの子会社として2002年4月に「一般労働者派遣事業」の認可を受けて、流通小売業界・特科型の人材派遣事業をスタートしました。当社は顧客チェーンストアに対して店舗オペレーションをサポートするサービスをご提供することを事業目的としております。

提供サービスとして、派遣事業と請負事業があります。派遣事業では、主に新店舗および季節の棚替・改装時の陳列作業、レジ・生鮮技術者・販売員・オープニングサポート(商品搬入・陳列・会員カード受付・商品補充など)の軽作業を提供しています。一方、請負事業では、商品集中補充・物流倉庫のピッキングなどを提供しております。よりよい店舗作りのパートナーとして、高品質のサービスを提供しております。

当社の設立目的は2つあります。1つ目は、店舗作りのパートナーとして「開店から決算まで」をキーワードに流通小売業の生産性向上および経営合理化の支援をさせていただくことです。流通小売業の店舗では多くの業

務が日々行われています。当社では経験と技術を兼ね備えたプロフェッショナルが、必要な作業を必要な期間だけ顧客のニーズに合わせサービスを提供しております。2つ目は、棚卸教育を受けた株式会社エイジスの従業員を雇用継続するために、仕事を提供することです。株式会社エイジスが行う実地棚卸サービスには、流通小売業界の決算期に応じて繁忙期および閑散期の売上格差があります。そのため棚卸の閑散期には、従業員が棚卸以外のサービスに従事することで1年を通じエイジスグループで働く機会を提供しております。この2つの目的を達成すべく現在(2012年9月末)は、6営業所と登録拠点5箇所を設けております。

株式会社エイジスの経営基本方針の1つである「リテイルサポートサービスの拡充」に基づいて、当社はその一翼を担う中核会社として、今後の業界動向に注目しながら事業運営に取り組んでまいります。

今後も株式会社エイジスとの相乗効果で、更なる事業拡大を進めてまいります。



エイジススタッフサービス株式会社
代表取締役社長 仁田善郎

営業活動報告

当第2四半期累計期間の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復基調が見られました。しかしながら、欧米の財政問題、長引く円高および株価低迷等から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界においては、一部に企業業績の改善は見られるものの、流通小売業界全体での業態・業種を超える競争により、厳しい経営環境が続いております。

セグメント別の概況

○ 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、前期に引き続き「独自技術を身につけたプロフェッショナル集団の構築」を目指し、品質向上に努めてまいりました。また地域密着営業を行い、顧客開拓を推進してまいりました。しかしながら、震災の影響による損害確定や直近在庫の確定を必要とする臨時棚卸が平常化したこと、および単価下落等により、売上高は

7,835百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。利益面は、単価下落を生産性の向上で補えなかったこと等により、セグメント利益は503百万円（前年同四半期比37.3%減）となりました。

○ 海外棚卸サービス

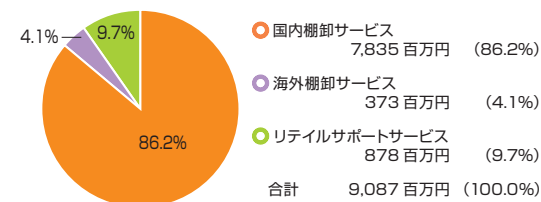
海外棚卸サービスにおいては、第1四半期連結会計期間より新規連結したAJIS (HONG KONG) CO., LIMITEDおよびAJIS (THAILAND) COMPANY LIMITEDの2社を含め、売上増加基調で推移しておりますが、利益面では販売費及び一般管理費をカバーするまでに至らず厳しい状況が続いております。売上高は373百万円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント損失は165百万円（前年同四半期比157百万円の損失増加）となりました。

○ リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、増収傾向が続いておりますが、利益面では販売費及び一般管理費をカバーするまでには至っておりません。売上高は878百万円（前年同四半期比19.2%増）、セグメント損失は14百万円（前年同四半期比23百万円の損失減少）となりました。

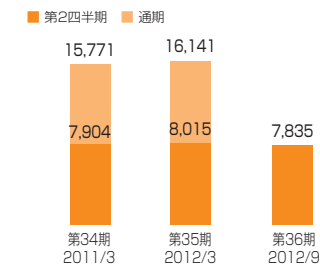
事業の区分別売上高

（構成比）



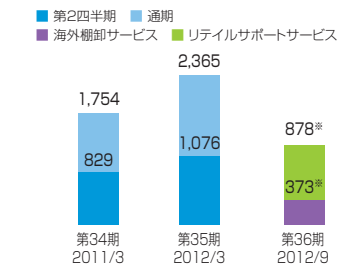
国内棚卸サービスの売上高

（単位：百万円）



海外棚卸サービスおよびリテイルサポートサービスの売上高

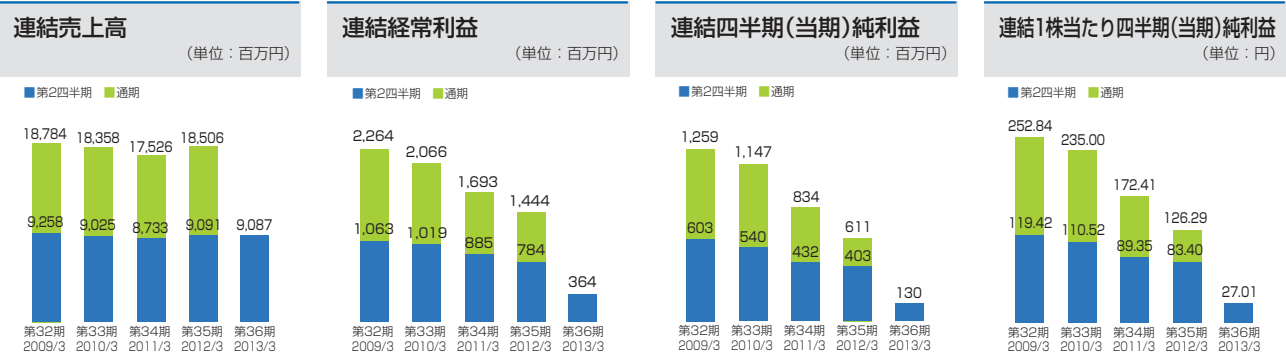
（単位：百万円）



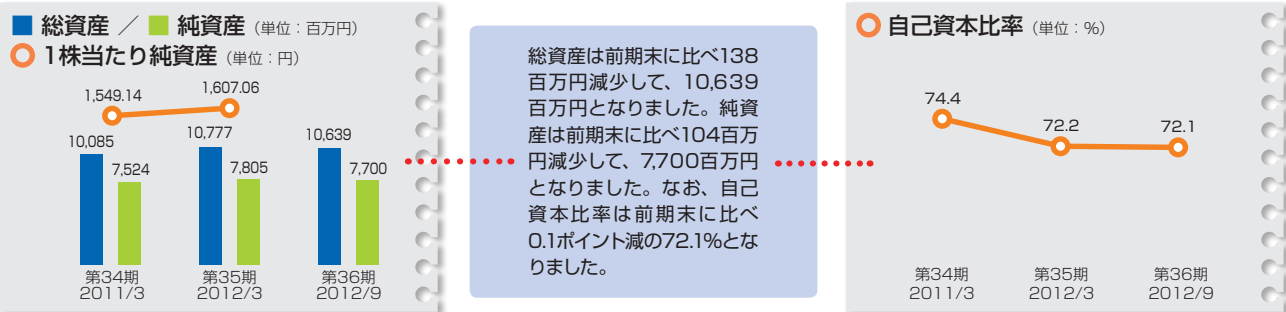
※前連結会計年度から、「その他」に含まれていた「海外棚卸サービス」と「リテイルサポートサービス」について、投資家に対する積極的開示の観点から報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

四半期連結財務データ

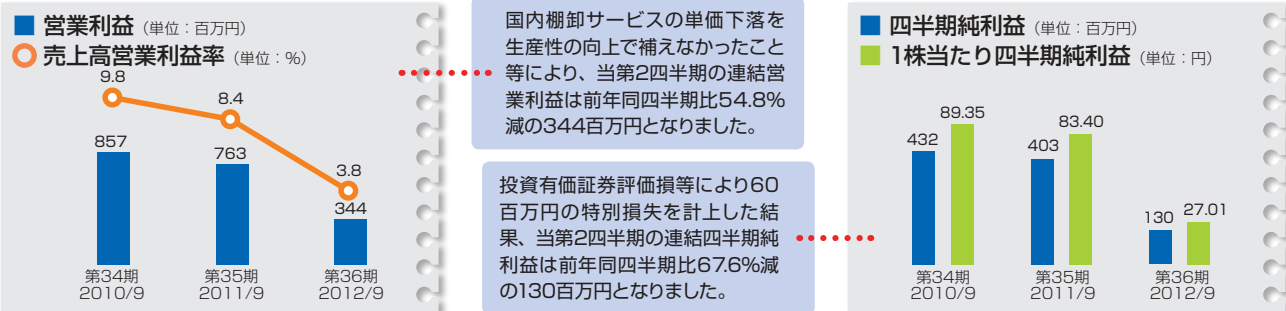
四半期連結業務ハイライト



財 政 面

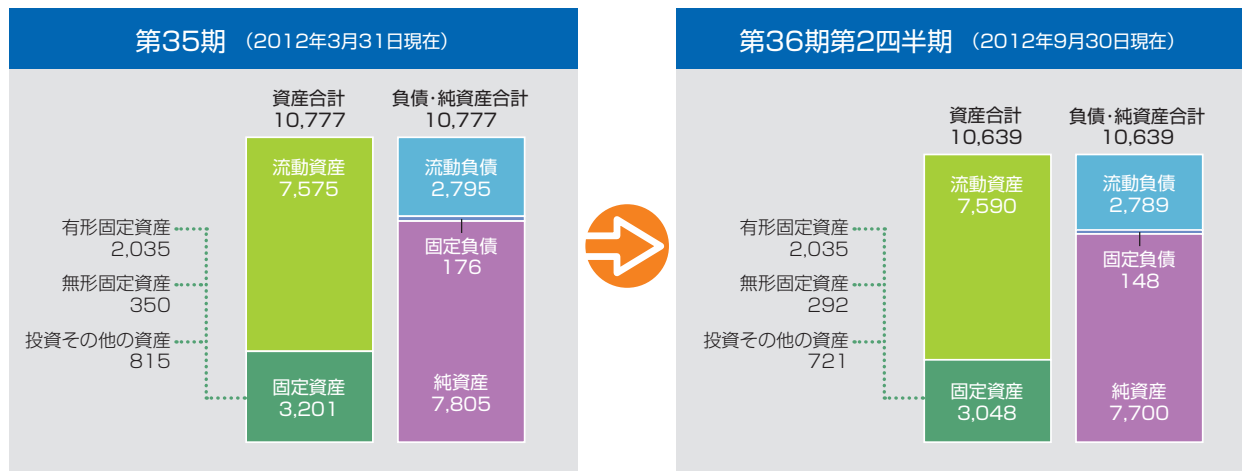


収 益 面



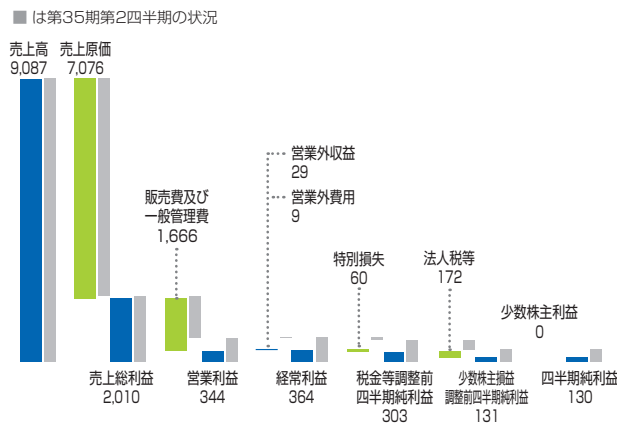
四半期連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



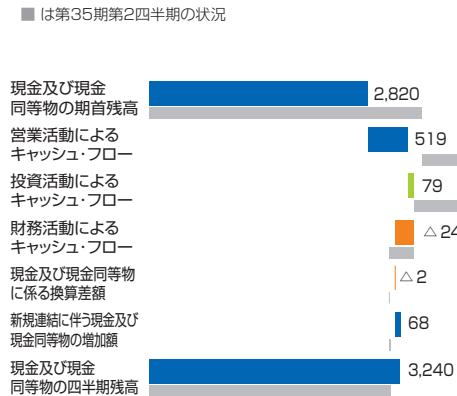
四半期連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



株式の状況（2012年9月30日現在）

発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式の総数	5,385,600株
株主数	3,069名

大株主（上位10名）（2012年9月30日現在）

株主名	当社への出資状況	
	持株数（株）	出資比率（％）
有限会社斉藤ホールディングス	1,211,900	22.50
齋藤昭生	790,080	14.67
ビービーエイチ　フォー　フィデリティ ロー　プライスド　ストック　ファンド	538,500	9.99
齋藤茂男	203,900	3.78
小林美保子	191,800	3.56
齋藤泰範	127,670	2.37
清水昭順	90,170	1.67
エイジス従業員持株会	83,056	1.54
野村信託銀行株式会社（投信口）	69,600	1.29
資産管理サービス信託銀行株式会社 （証券投資信託口）	61,000	1.13

（注）当社は、自己株式543,840株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

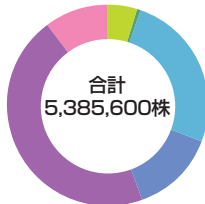
利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、長期的に安定した収益力を保持すると同時に、企業体質強化のための内部留保を勘案し、業績に裏付けられた適正な利益配分を持続させることを基本方針としております。

当期の配当につきましては、1株当たり期末配当45円を予定しております。一方、内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、今まで以上にコスト競争力を高め、市場ニーズに応える技術・オペレーション体制を強化するために有効投資してまいりたいと考えております。

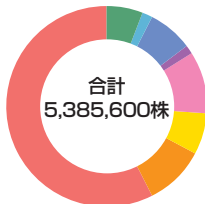
所有者別分布状況（2012年9月30日現在）

■ 金融機関	268,180株	（4.98％）
■ 金融商品取引業者	22,549株	（0.41％）
■ その他の法人	1,371,270株	（25.46％）
■ 外国法人等	738,100株	（13.71％）
■ 個人・その他	2,441,661株	（45.34％）
■ 自己名義株式	543,840株	（10.10％）

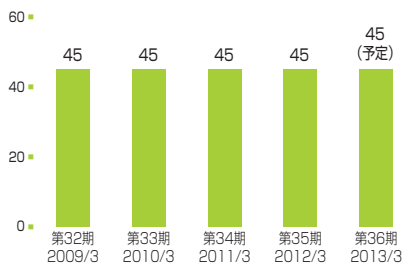


所有株数別分布状況（2012年9月30日現在）

■ 1単元未満	3,722株	（0.07％）
■ 1単元以上	318,492株	（5.91％）
■ 5単元以上	95,840株	（1.78％）
■ 10単元以上	381,300株	（7.08％）
■ 50単元以上	74,390株	（1.38％）
■ 100単元以上	547,290株	（10.16％）
■ 500単元以上	356,876株	（6.63％）
■ 1,000単元以上	523,370株	（9.72％）
■ 5,000単元以上	3,084,320株	（57.27％）



1株当たりの配当金の推移（単位：円）



会社概要（2012年9月30日現在）

会　社　名	株式会社エイジス （英文名　AJIS CO., LTD.）
資　本　金	475百万円
設　立　年　月　日	1978年5月23日
従　業　員　数	268名（545名 ※連結）
営　業　拠　点	直営46カ所　FC35カ所 （合計81カ所）
業　務　内　容	● 実地棚卸サービス ● その他の流通業周辺サービス
主要取引銀行	● 三菱東京UFJ銀行 ● 千葉銀行 ● みずほ銀行 ● 三井住友銀行
ホームページ	http://www.ajis-group.co.jp/

取締役および監査役（2012年9月30日現在）

代表取締役社長	齋　藤　昭　生
常　務　取　締　役	近　江　元
常　務　取　締　役	高　橋　一　人
取　締　役	竹之下　正　夫
取　締　役	戸　丸　富志夫
取　締　役	山　根　洋　行
取　締　役	手　塚　勝　也
取　締　役	平　石　智　之
取　締　役	福　田　久　也
取　締　役	森　和　弘 ※1
常　勤　監　査　役	鈴　木　行　雄
常　勤　監　査　役	増　子　泰　由 ※2
監　査　役	安　田　登 ※2

※1　森　和弘は、会社法に定める社外取締役であります。

※2　増子　泰由および安田　登は、会社法に定める社外監査役であります。

主要取引先（2012年9月30日現在）

コンビニエンスストア サークルKサンクス スリーエフ セーブオン	セブン-イレブン・ジャパン デイリーヤマザキ ファミリーマート	ポブラ ミニストップ ローソン
G.M.S./スーパーマーケット アルビス イオンリテール イオンキミサワ イズミ イズミヤ イトーヨーカ堂 いなげや ウオロク オークワ オオセキ オキノ Olympic カスミ	関西スーパーマーケット コープこうべ コープネット事業連合 サミット サンセブン 大黒天物産 東急ストア とりせん 長崎屋 原信ガルスホールディングス パロー ベイシア 平和堂	ベルク マックスバリュ各社 マルエツ 万代 みやぎ生協 ヤオコー ヤマザワ ヤマナカ ユーコープ事業連合 ユニバース ヨークベニマル ライフコーポレーション
百貨店 大丸松坂屋百貨店 高島屋 天満屋	東急百貨店 阪急阪神百貨店 松屋	丸井 三越伊勢丹ホールディングス
ホームセンター/ドラッグストア/ディスカウントストア ウェルバーク カインズ カワチ薬品 クスリのアオキ クリエイト エス・ディー ケーヨー ゲンキー コーナン商事 コクミン サンデー	サンドラッグ CFSコーポレーション ジップドラッグ 島忠 スギ薬局 セイジョー セキチュー ダイユーエイト 千葉薬品	富士薬品 PLANT ホームマック マツモトキヨシ ユタカファーマシー ユニリビング ライフオート LIXILビバ ロイヤルホームセンター
書店 あおい書店 旭屋書店 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション 勝木書店 カルチュア・コンビニエンス・クラブ 紀伊國屋書店	三省堂書店 三洋堂書店 JR東日本リテールネット ジュンク堂書店 文教堂 文真堂書店	丸善書店 宮協書店 未来屋書店 有隣堂 リブロ
アパレル エディー・パウアー・ジャパン ギャップジャパン クリスチャン ディオール ゴールドウィン ザラ・ジャパン	ジョルジオ アルマーニ ジャパン 東京シャツ 西松屋チェーン バル ポイント	ポロラルフローレン ユニクロ ライトオン ワークマン ワールド
その他 赤ちゃん本舗 アディダス ジャパン エディオン キャンドウ 九九プラス ニトリ・ジャパン コジマ 上新電機	ゼビオ セリア 大創産業 東急ハンズ ドン・キホーテ ニトリ 日本トイザらス ビックカメラ	藤久 メガスポーツ やまや 良品計画 ロフト ローソンHMVエンタテイメント

※ 敬称・法人格は省略させていただいております。 ※ 50音順